

キミカ、千葉プラントでの研究開発機能付き新棟建設は大成建設

2021.12.1 No.4872

[関連企業リンク](#)
[キミカ](#)
[関連地域](#)
[千葉](#)
[主要ゼネコン別発注](#)
[大成建設](#)

アルギン酸の製造・販売などを手がける㈱キミカ(東京都中央区八重洲2-4-1、03-3548-1941)は、千葉プラント(千葉県富津市)で計画している研究開発ラボなどの機能がある新棟の建設に大成建設の施工で着工した。鉄骨・鉄筋コンクリート造り地上2階建て延床面積3,450㎡の建屋を建設し、2022年9月末の竣工を予定。設計と施工監理は㈱類設計室(大阪市淀川区)が担当する。なお、新棟は環境性能に優れる技術を取り入れているほか、ワークショップやオンラインセミナーを通じて汲み取った社員の思いを設計に反映するなど、人と地球に優しい拠点とする計画だ。

新棟はオフィス、アルギン酸の研究開発を行う研究開発ラボ、アルギン酸の品質管理を行う品質管理ラボ、食品アプリケーションラボ、福利厚生施設を集約した施設となっており、執務エリアは従来比3倍、研究エリアは同4倍に拡張。品質管理ラボにはオープンな理化学試験エリアに加えて、専用エリアとなる機器分析室、微生物試験室、安定性モニタリング室など、医薬品GMP(医薬品・医薬部外品の製造管理および品質管理の基準)にも対応した設備を有し、医療用材料(医薬品原薬、医療機器原料)メーカーにふさわしい試験検査環境を整備する。また、顧客とともにアルギン酸の用途開発を行う食品アプリケーションラボも設け、100人程度を収容できるセミナー室を用意し、アルギン酸の普及と用途開発を加速する。

B C P(事業継続計画)対策では建物全体を50cm底上げしたほか、研究スペース(測定機器)と電気室を2階に配置して水害に備えている。加えて、非常用発電機による電源バックアップで万一の停電に備え、基準の1.25倍以上の耐震性能も付与する。

キミカでは新棟を環境に配慮したものとする以外にも、日頃から環境などへの取り組みを進めており、その結果として、「第30回食品安全安心・環境貢献賞」と「第22回グリーン購入大賞」において「大賞」と「環境大臣賞」を受賞した。食品安全安心・環境貢献賞は社会から求められている自社の存在意義を把握して社会的責任を明確にし、SDGs(持続可能な開発目標)を視野に入れて事業を展開している企業を表彰する制度で、食の安全・安心の取り組みやコロナ禍における働き方改革などが評価され、受賞に到った。また、グリーン購入大賞はグリーン購入ネットワーク(東京都千代田区)が環境省、経済産業省、農林水産省などの後援を受けて持続可能な調達(消費と生産)を通じて、脱炭素、SDGs、サーキュラーエコノミーを実現する取り組みを表彰する制度で、世界的なサプライチェーンに好影響を与える取り組みを長年継続していること、生態系や気候条件に配慮したアルギン酸の生産方法などが評価され、受賞に到った。

※掲載記事の無断転載を禁じます。著作権は㈱重化学工業通信社に帰属します。

Copyright The Heavy & Chemical Industries News Agency, all rights reserved

[記事の内容に関する](#)
[問い合わせは](#)

重化学工業通信社 編集部

TEL : 03-5207-3332

FAX : 03-5207-3333

 E-mailでのお問い合わせ 